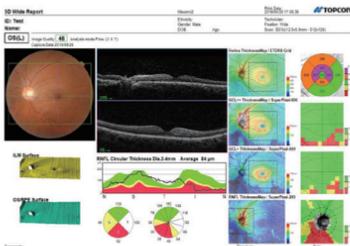




レポートガイド

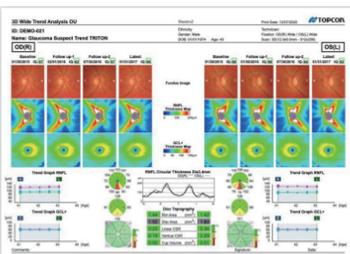
3次元眼底像撮影装置

3D OCT-1 (Type:Maestro2)



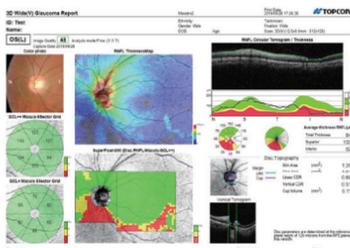
3D Wide スタンダードレポート

1度のスキャンで黄斑と視神経乳頭画像を同時に撮影します。黄斑部解析および、NFL,GCL+IPL,NFL+GCL+IPLのThicknessマップやSignificanceマップを表示できます。



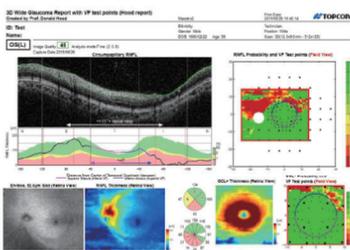
3D Wide トレンド解析レポート

視神経乳頭部と黄斑部の経時変化を時系列に並べてレポートに表示します。RNFLとGCL+のThickness Mapやトレンドグラフ、ETDRSグリッド、Disc Topographyなどを表示できます。



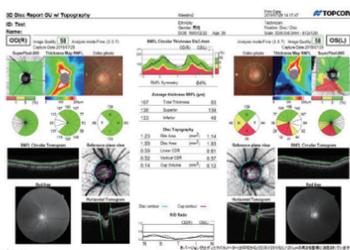
3D Wide Glaucomaレポート

12mm x 9mm の 3D スキャン撮影により得られる解析結果をまとめて表示するレポートです。眼底撮影画像、視神経乳頭部の形状解析結果、RNFL や GCL(GCL+,GCL++) の Thickness マップや Significance マップ、健常眼との比較結果などを表示します。



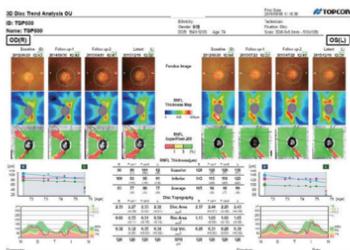
3D Wide Glaucomaレポート(Hoodレポート)

コロビア大学Dr. Donald Hoodの監修を受けた、トプコン独自のレポートです。視神経乳頭部の形状解析結果、Enface、RNFLやGCL+のThicknessマップに加え、視野計(24-2と10-2)の検査点とRNFL層の相関などを表示します。



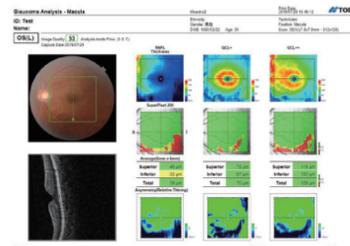
視神経乳頭形状解析レポート

視神経乳頭部を水平にスキャンすることで得られる解析結果を表示するレポートです。眼底撮影画像、RNFL厚マップや各種パラメータで視神経乳頭部の形状解析結果などを表示します。



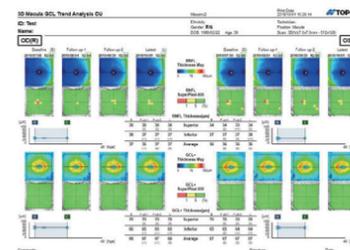
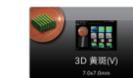
視神経乳頭トレンド解析レポート

視神経乳頭部の過去から現在の解析結果を時系列に並べて、RNFL厚の経過をグラフなどで表示します。



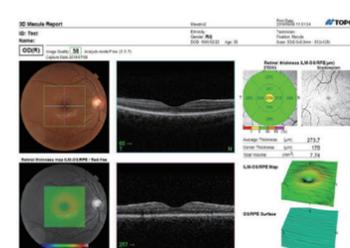
黄斑部解析レポート

黄斑部の解析結果として、RNFL厚マップ、GCL厚マップ(GCL+、GCL++)、網膜厚マップと健常眼データとの比較結果などを表示します。



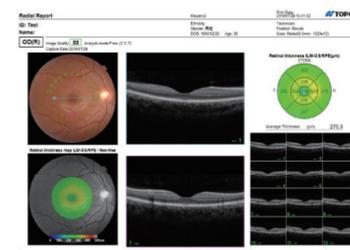
3D黄斑部トレンド解析レポート

過去に検査した黄斑部の検査結果と新しい検査結果を時系列に表示します。片眼で最大4つ(両眼で8つ)のデータまで表示可能です。現在と過去におけるデータとの比較ができます。



3D黄斑部解析レポート

黄斑部の3Dスキャンしたデータと健常眼データベースを比較し、結果を色分け表示します。



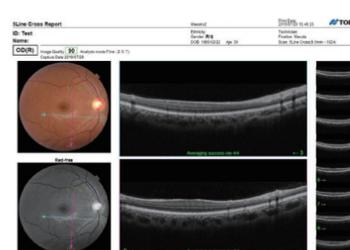
ラジアルスキャンレポート

ラジアル方向のBスキャン画像などを表示します。(9mm、6mm)



ラインスキャンレポート

ワイドな12mmのBスキャン画像などを表示します。(12mm、9mm、6mm)



5ラインクロスレポート

垂直および水平方向におけるBスキャン画像などを表示します。





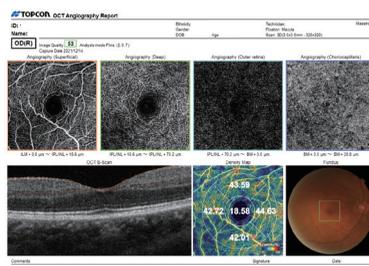
前眼部レポート



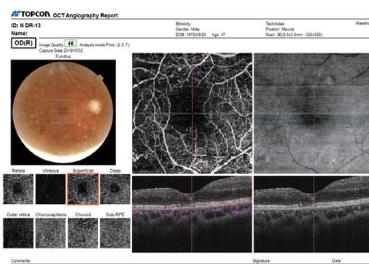
ラジアル前眼部スキャンやライン前眼部スキャンにより得られる解析結果を表示するレポートです。ラジアル前眼部スキャンでは、角膜曲率半径マップや角膜厚マップをレポートに表示できます。

ライン前眼部スキャンでは、隅角の撮影結果をレポートに表示します。

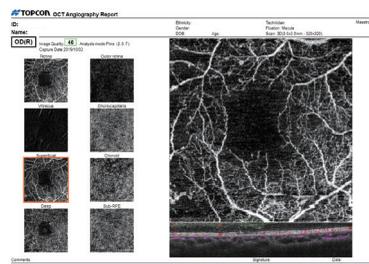
* 前眼部 / 前眼部断層像観察・撮影を行うには、付属の前眼部用アタッチメントが必要です。



標準レポート



Angio/En-faceレポート*



Wideレポート*

*画像のご提供: 野崎 美穂先生(名古屋市立大学病院)

OCT Angiography レポート



標準レポートでは、OCT Angiography画像をSuperficial, Deep, Outer retina, Choriocapillarisの4層に分けて表示します。B-Scan像やDensity Map、カラー眼底画像も合わせて1枚のレポートに表示します。

カラー眼底画像にはOCT Angiography画像をオーバーレイ表示することもできます。

Angio/En-faceレポートでは、任意のOCT Angiography画像とEn-Face画像を拡大表示でき、WideレポートではOCT Angiography画像をさらに拡大した状態で表示でき、血管領域と形態の確認が容易です。更に、下記の8層をレポートに表示します。

固視がMaculaの場合:

Retina, Vitreous, Superficial, Deep, Outer retina, Choriocapillaris, Choroid, Sub-RPE

固視がDiscの場合:

Retina, Vitreous, Superficial, Deep, Outer retina, Choriocapillaris, Optic Disc, RPC

スキャン範囲:

(3mm x 3mm, 4.5mm x 4.5mm, 6mm x 6mm)

販売名:3次元眼底像撮影装置 3D OCT-1

医療機器認証番号:224AABZX00151000

販売名:眼科データ管理システム IMAGEnet6

医療機器認証番号:227AABZX00081000

※(Type:Maestro2)は「3次元眼底像撮影装置 3D OCT-1」のカタログ記号です。

※OCT Angiography撮影機能は別売オプションです。

※カタログと実際の商品の色とは、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。

※カタログ掲載の商品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

製造販売 株式会社 **トプコン** 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1

本社・アイケア事業本部 TEL:03-3558-2523 ホームページ <https://topconhealthcare.jp/ja>